

- 1 日 時 令和7年10月31日(金)
- 2 学年・学級 2年2組(男子15名 女子21名 計36名)
- 3 場 所 2年2組教室
- 4 単 元 名 日本の様々な地域 第3章 日本の諸地域
- 5 単元の目標

【知識及び技能】地域的特色や地域の課題を理解する。また、異なる情報を見比べたり、結び付けたりして読み取る力をつける。

【思考力、判断力、表現力等】地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

6 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校社会学習指導要領 地理的分野(2)日本の様々な地域 ウ 日本の諸地域に位置づけられる。この単元では、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解し、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信、その他を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること及び日本の諸地域において、それぞれ自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信、その他まで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することがねらいとなっている。

(2) 生徒観

次のアンケートは、本単元学習前に実施したものの結果である。

質問内容	肯定的評価の割合
自分の考えを全体や友人にわかりやすく説明できる。	67%
考えを説明する場面では、その理由がわかるように書ける。	74%
グループ学習では、他の人の意見から新しい発見がある。	97%
グループ内で交流した意見を自分なりにまとめることができる。	81%
複数の資料を基に、学習課題について考えたり、説明したりすることができる。	57%

アンケート調査では「グループ学習では、他の人の意見から新しい発見がある。」「グループ内で交流した意見を自分なりにまとめることができる。」の肯定的評価の割合が高いところから、グループ学習の中で他者の意見を聞いたり、取り入れたりすることができる生徒が多いことがわかる。しかし、「自分の考えを全体や友人にわかりやすく説明できる。」の質問項目の肯定的評価は、7割を下回った。また、「考えを説

明する場面では、その理由がわかるように書ける。」という質問項目の肯定的評価の割合も7割程度と、あまり高くないところから、自分の考えを文章にして表現したり他者に伝えたりすることが苦手な生徒の多いことがわかる。さらに「複数の資料を基に、学習課題について考えたり、説明したりすることができる。」の質問項目の肯定的評価が特に低いことから、資料から読み取ったことを組み合わせて考えたり、表現することが苦手な生徒が多いことが分かる。

(3) 指導観

「自分の考えを文章にして表現したり他者に伝えたりすること」が苦手な生徒が多いため、近年、日本へ来る外国人旅行者が増加傾向にある現状を踏まえ、「日本へ旅行にやってきた外国人に勧められる観光地を紹介しよう」といった学習課題を設定する。既習事項の九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方を自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信を中核とした考察の仕方を使って、学習した地域的特色を基に、日本へやってきた外国人に勧められる観光地がどこかを考える。その際、観光地の魅力がどんな要素（歴史的背景や文化、景観、他地域とのつながりや文化など）から構成されているのかを考えさせ、構成する要素に基づいて「どんな人（居住地域や宗教、文化など）に訪れてほしいか」を明確にしながら学習課題に取り組ませる。加えて、紹介する対象を「外国人」と漠然とくくるのではなく、どんな地域から来た、どんな文化圏で生活している国の人なのかを考えさせ、相手意識を持ちながら日本の魅力を正しく伝えられる伝え方についても考えさせる。情報収集の方法については図書館の書籍を活用し、単なる調べ学習に留まるのではなく、書籍で得た情報から地域的特色や、他の地域とのつながりを推測できるよう指導を行う。さらに図書館書籍で補えない情報については、ICTを活用して情報を補うこととする。「資料から読み取ったことを組み合わせて考えること」に対して課題とを感じる生徒が多いため、日本の諸地域を学習する際に資料を読み取る活動を多く設定したり、資料からわかる客観的事実と読み取った事実に対する意見を区別する活動を設定したりする。本単元の中では、本の中に載っている情報から多くのことが推測できるよう、雨温図や産業構造のグラフなど様々な資料を関連付けて指導をおこなう。「自分の考えを全体や友人にわかりやすく説明すること」に対して課題とを感じる生徒に対する支援方法として、マインドマップや熊手チャートといった思考ツールを使用し、思考したことを整理して文章化するという方法を用いる。

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・ ①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 	<p>日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象や、そこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

8 指導と評価の計画（全8時間）

※○：記録に残す評価 ●：学習改善を促す評価

時	ねらい・学習活動	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
1	これまでの「日本の諸地域」の学習について、既習事項を振り返る。提示された学習課題について考え、おすすめできる観光地を一つ選ぶ。	●		●	
2～5	選んだ観光地について、「なぜ観光地となっているのか」という問いを設定させ、選んだ観光地の成立条件の具体を図書等を使用して調べ、「なぜ観光地となって多くの人が訪れるのか」を考えて、まとめる。 成立条件の例 ・自然条件 ・歴史的背景 ・伝統文化、行事など観光資源 ・交通網 ・地域社会の協力	○	●		幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。（ワークシート）
6 【本時】	グループ内で発表し、設定した視点をもとに改善案を出し合う。		○	●	日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象や、そこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。（ワークシート）
7	グループ代表者が学級で発表する。		●	○	日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。（行動観察）
8	各自が選んだおすすめ観光地の情報を修正し、まとめる。		○	○	日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。（ワークシート）

7 本時の展開

(1) 本時の目標

複数の視点から他者の作品を評価し、どのように改善すればよいか表現することができる。

(2) 準備物

教科書、資料集、地図帳、ワークシート、図書館の書籍、PC、プロジェクター

(3) 提示する学習課題

日本へ旅行にやってきた外国人に勧められる観光地を紹介しよう。

(4) 本時の展開

	生徒の学習活動	指導上の留意点 ◆支援・手立て	評価規準（評価方法） 【図書活用のポイント】
導入 (10分)	<p>前回までに作成した作品を見て、内容を確認する。</p> <p>めあての提示</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】改善点を考え、他人の作品にアドバイスすることができる。</p> </div> <p>班で選んだ記事を持ち寄って、以下の視点からどこを改善すべきか話し合う。</p> <p>【生徒に提示する視点】</p> <p>①環境条件や他地域との比較や繋がりがわかる</p> <p>②視点①と産業や文化といった人間の営みが結び付けられている</p>		
展開 (35分)	<p>3～4人グループで発表し、視点に基づいて評価する。</p> <p>相手の作品の改善点を考え、ワークシートに記入する。</p> <p>改善点を聞いて、自分の作品を修正する。</p>	<p>◆発表や改善点を書くことが難しい生徒に対する支援として、ワークシートにひな形を設定する。</p> <p>◆社会的な見方・考え方や視点を入れた内容になっているか確認させる。</p>	<p>〈思考・判断・表現〉日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象や、そこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。（ワークシート）</p> <p>【図書活用のポイント】自分が参考にした書籍を発表の際に活用する。</p>
まとめ (5分)	<p>次回の発表に向けて、班で代表者を一人決定する。</p>		

古き日本を感じる宮島の旅

穏やかな海を見ながら歴史を感じられる宮島へ行って厳島神社で参拝！

宮島の写真

【宮島はなぜ魅力的な観光地になっているのか】

宮島は年間約 500 万人近くの観光客が訪れる観光地になっている。その理由は、古代から信仰され、他の地域には見られない景観である世界文化遺産の厳島神社などがあり、それらを維持するだけでなく、それを観光産業に活用しているためである。ただそれだけではなく、歴史的な景観や清潔さを保つための地域住民の理解と協力と、入湯税などの観光客の理解と協力により魅力的な観光地となっている。橋が架かっておらず、他の観光地と比較して決して良いとは言えないものの、橋がないことで歴史的な景観維持や宿泊者数の増加も見込め、これもまた魅力的な観光地につながっている。